

## 人々の暮らしを支援する実習

《担当者名》○塚本容子 yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp 山田拓 三津橋梨絵

基礎・統合看護学講座：竹生礼子 明野伸次 福井純子 川添恵理子 明野聖子 佐藤美由紀 横川亜希子 増田悠佑 米川弘樹 山口夕貴 表山知里 吉田菜摘 白川まゆこ

生涯発達看護学講座：桑原ゆみ 木浪智佳子 八木こずえ 宮地普子 内ヶ島伸也 唐津ふさ 熊谷歌織 神田直樹 高木由希 中安隆志 若濱奈々子 川崎ゆかり 伊藤加奈子 船橋久美子 谷本真唯 野崎由希子 中谷智子

### 【概要】

暮らしの場を問わず、多様な健康状態の人々に対する看護をシームレスに創造し、実践する能力を身につけることをねらいに、学生が自分の課題や関心に照らして選択した医療機関、施設、事業所などにおいて、人々の暮らしの支援を自律的に実践することを学ぶ。学生は、自身の課題や関心に基づき選択した実習先で、対象（個人、家族、集団、組織、地域）に対する統合的なアセスメントを行い、計画を立案し、実践する。また、多職種との連携を通じてチームの一員としての役割を果たし、看護実践を振り返ることで課題を明確にし、今後の成長につなげる。

### 【学修目標】

これまでの実習を統合し、多職種と連携・協働しながら、対象\*に対する統合的なアセスメントのもと、人々の暮らしの支援を自律的に実践できる。

\*「対象」とは、個人、家族、集団、組織、地域を指す

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	到達目標	1. 学生は自己の学修課題を明確にしたうえで、実習する場の特性をふまえた実習計画を立案し遂行する 2. 対象の健康課題に対してアセスメントし、看護の役割を考慮したうえで、チームの一員として行動する 3. 対象の健康課題の解決に向けて、多職種連携・協働による支援の実際を知り、チームとしての合意形成のプロセスについて考察する 4. 対象の健康課題の解決に対して、ケアシステムの更なる質の向上のために自らの考えを提案する	塚本 山田 三津橋 基礎・統合看護学講座： 竹生 明野 福井 川添 明野 佐藤 横川 増田 米川 山口 表山 吉田 白川 生涯発達看護学講座：桑原 木浪 八木 宮地 内ヶ島 唐津 熊谷 神田 高木 中安 若濱 川崎 伊藤 船橋 谷本 野崎 中谷
	実習方法	実習期間：8月中旬～10月（10日間） 【集中型】 2026年8月17日(月)～9月18日(金) 【分散型】 2026年8月17日(月)～10月23日(金) 9/22～10/23の期間は、実習日を水曜日、木曜日とする。  実習施設：学生が自分の課題や関心に照らして選択した医療機関、施設、事業所1施設 *実習施設は実習要項に示す  実習オリエンテーション (1) 1回目 【前年度施行】 ・全対象学生を対象に、実習概要について説明する。 ・学生は、自身の学修課題や進路を踏まえて、第1希望から第5希望までの実習テーマとその選択理由を添えて、Googleクラスルームに提出する。選択理由をもとに、各学生に配置する実習テーマを実習担当教員が調整し、4月の実習オリエンテーション2回目に発表する。 (2) 2回目【4月中旬】 ・全体説明およびテーマ別の実習オリエンテーションを行う。 ・配属された実習テーマ・実習する場、実習指導教員を発表する。 *学生の希望は考慮されるが、受け入れ人数の上限等の制約があるため、必ずしも希望した実習テーマ・実習する場に配置されるとは限らない *学生は、指定された実習場所、および実習日時で実	

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		習を行う ・実習施設ごとに学生と担当教員の顔合わせを行う。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

実習時間の70%以上の出席を前提として、実習記録・実習レポート・報告内容から実習目標の達成度を総合的に評価する。

【備考】

実習に関する記録等の配信には、Google Classroomを利用する。

【学修の準備】

実習計画書の作成（4月中旬～6月末）

- ・学生は、定められた実習目的、実習目標、到達目標を達成するための実習計画を立案する。実習計画は、学生が選択した実習テーマ・実習する場の特色を考慮して、具体的な行動目標と行動計画を含むものとする。
- ・学生は各自で、実習指導教員と日時を調整し、実習計画の指導を受けること。
- ・学生は、要項の実習内容を参照し、中間カンファレンスと最終カンファレンスを含んだ実習計画を立案する。
- ・実習計画書の提出期限：各実習指導教員が定めた提出期限（実習開始約4週間前）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

関わる教員は、看護師資格を有している

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、施設、事業所等の実務経験と大学教員として実習指導の経験を活かし実践的教育を行う

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している